

【様式】

平成29年度 学校マネジメントシート

学校名 (杉の子特別支援学校 石薬師分校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・自立や社会参加をめざし、主体的に取り組む子ども ・自己肯定感や他者を思いやる気持ちが持てるなど、命を大切にし、人権感覚あふれる子ども
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門性が高く、子どものニーズや障がいの特性に応じた教育活動や地域支援を推進する教職員 ・対話・会話を大切にし、組織力の向上をめざす教職員 ・防災対策や防災教育、人権感覚あふれる学校づくり等、子どもたちが安心・安全に過ごせる学校づくりを推進していく教職員 ・関係機関と連携し、就学前から卒業後までの一貫した指導と支援を推進していく教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈児童・生徒〉 様々な体験や自立、社会参加に向けての教育 一人ひとりが活かされる仲間づくり</p> <p>〈保護者〉 児童生徒一人ひとりのニーズに応じた自立と社会参加に向けての教育 進路先の確保</p> <p>〈地域の学校・関係機関〉 特別支援教育のセンター的機能</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>〈保護者〉 児童生徒一人ひとりのニーズに応じた安心・安全な教育</p> <p>〈地域の学校〉 交流を通しての共生・共学の理解と推進 地域の特別支援教育のセンター的機能</p> <p>〈地域の関係機関（企業・福祉施設等）〉 情報提供や障がい者理解に向けた支援</p>	<p>〈保護者〉 目指す学校づくりへの理解と協力</p> <p>〈地域の学校〉 交流を通しての様々な活動や体験 施設・設備の効果的な活用、相互利用の促進</p> <p>〈地域の関係機関（企業・福祉施設等）〉 現場実習の受け入れ及び就労実現 職業授業への情報やノウハウの提供 放課後等の利用、卒業後の入所 就労や施設利用に関する情報の提供 社会活動への参加や進路先の確保、卒業後の支援</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は「職業」のしくみが大きく変わるため、児童生徒及び保護者も不安があると想定される。そうした不安を払拭するためにも保護者等との情報共有を綿密に行ってほしい。 ・児童生徒の卒業後の生活をふまえて、企業や福祉施設で働く（生活する）姿を想定して、日々の指導体制を考えてほしい。 ・防災教育については、学校だけでなく、家庭でも取り組むことが必要であると考えるので、児童生徒が学んだことを連絡ノートや通信等で家庭に丁寧に伝えるなどの積極的な情報発信を行ってほしい。 ・教職員がゆとりのある勤務ができることが、児童生徒の成長にも有効であると考えるので、「ほっとできる場所や時間」に関する満足度が上がるように、いろいろな取り組みを考えてほしい。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の視点に立った一貫した教育内容の充実や地域等と連携したキャリア教育を推進する必要がある。 ・大地震の発生が予想されることから、大規模災害に備えた防災対策、防災教育の充実を図る必要がある。 ・安全で、より良い生活を送るために必要な防犯教育や政治的教養を育む教育を推進していく必要がある。 ・命を大切にし、人権感覚あふれる人権教育の視点で教育活動を捉え直す必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・本校と分校があり、本校には4つの教育課程があることから、本校・分校間や校内での連携や情報共有が必要である。 ・専門性の向上を図るとともに、特別支援教育におけるセンター的機能を果たす必要がある。 ・行事や業務内容、校内組織の見直しを推進し、総勤務時間の縮減に向けた取り組みを推進していく必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の視点に立った計画的で一貫したキャリア教育を推進する。 ・人権感覚あふれる児童生徒の育成のため、人権教育を推進する。 ・自他を大切にし、命を尊重する態度を育むため、命を大切にする教育を推進する。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。 ・専門性の向上を図るため研修を推進することで、児童生徒のニーズに合った指導・支援を行うとともに、特別支援教育のセンター的機能を果たすため、地域の学校や関連機関と協働し、効果的な支援を高める。 ・学校運営の効率化を図り、総勤務時間の縮減に努める。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
○キャリア教育の推進	<p>○キャリア教育の推進(研修部)</p> <p>キャリア教育について全体での基礎研修を行い、職業の授業指導案にキャリア教育プログラムの観点を入れて活用していく。学部研修会を通して授業や観点について検証を行い、キャリア教育プログラムを修正していく。また、杉の子本校のキャリア教育プログラムとの系統性も検証し、小中高の一貫したキャリア教育を構築できるように進める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育推進委員会を年3回開催する。 ・キャリア教育プログラムの活用に関する学部研修会を年10回行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の職員アンケートで、キャリア教育プログラムを授業に活用できた教員が70% ・小中高一貫したキャリア教育プログラムの完成。 	(年度末および適宜記載)	
○人権教育	○人権教育の推進(人権教育部)		

<p>の推進</p> <p>○命を大切に する教育 の推進</p>	<p>①授業、学校活動全般を通じて日常的に人権教育を行うことで、生徒同士のなかまづくりを円滑にする。</p> <p>②石薬師高校との交流を行い、同年代の他校高校生と交友を図る。</p> <p>③職員研修を行い、教員の人権意識を高め人権教育に生かす。</p> <p>・【活動指標】</p> <p>①各クラス、年2回行う。</p> <p>②運動会、文化祭のほか、放課後交流を1回以上行う。</p> <p>③年一回以上。</p> <p>・【成果指標】</p> <p>①年度末、人権教育の実施状況について、職員からアンケートを行う。実施率100%</p> <p>②石高職員、参加生徒からアンケートを行い、満足度75%</p> <p>③参加職員からアンケートを行う。満足度75%</p> <p>○命を大切に する教育の 推進(教務部)</p> <p>①授業、学校活動全般を通じて日常的にいのちを大切に する教育を行うことで、自分や他者のいのちを尊重する態度を 育む。</p> <p>②生徒に対するいじめアンケートの実施。</p> <p>・【活動指標】</p> <p>①各クラス、年2回行う。</p> <p>②生徒全員に対して年1回以上行う。</p> <p>・【成果指標】</p> <p>①年度末、命を大切に する教育の実施状況について、職員からアンケート を行い、実施率100%</p> <p>②いじめアンケートを集計するとともに、適宜指導を行う。</p>		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>○資質向上の 取り組み</p>	<p>○資質向上の取り組み(研修部)</p> <p>今年度、システム変更を行った職業について、授業づくりを中心に研修の取り組みを進め、教員の専門性の向上を目指す。具体的には、授業づくりについて研究されている講師を招き、本校の授業実践に対して助言・指導を受け、授業改善を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <p>・講師による授業実践の研修会を年2回開催する。</p> <p>・授業改善に関する学部研修会を年10回行う。</p> <p>【成果指標】</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	

<p>○情報共有による組織力の向上と信頼関係の構築</p> <p>○働きやすい職場環境づくり</p>	<p>・研修会アンケートで、参加した職員満足度75%以上。</p> <p>○情報共有による組織力の向上 石薬師分校の教育を進めるために分校内の部署だけでなく、杉の子本校や石薬師高校と情報共有を進め、組織力の向上や信頼関係の構築を行う。</p> <p>【活動指標】 <学校全体> ・学校ホームページの活用と充実(定期的な情報発信:総務部) ・学部会等で学年担任と職業班担当との連携を図る。月1回 (学部主事) ・学部会・学年会を定期的な設定し円滑な運営を進める。月1回 (学部主事)</p> <p><本校との連携> ・本分合同の研修会の実施(年間2回:研修部) ・定期的な合同分掌会の実施(関連分掌) ・学校だより(本分合同)を学期1回の発行(教頭) ・定期的な進路だよりの交流(進路部) ・本校への授業参観(各自1回以上:支援部)</p> <p><石薬師高校との連携> ・定期的な打ち合わせを実施し、情報を共有する。毎週1回 (学部主事)</p> <p>【成果指標】 各取り組みの実施率100%</p> <p>○働きやすい環境づくり(教頭:学校企画委員会) 総勤務時間の縮減に向けて、全職員で意見を出し合い、協力して取り組みを進める。</p> <p>【活動指標】 ・職場の課題を自由に話し合うオフサイトミーティングを年間2回実施。 ・定時退校日及びノー会議デーを月1回設定。 ・週時程における一人あたりの準備時間の増設。 ・各取り組みを2か月に1回程度学校企画委員会で定期的にチェックして管理する。</p> <p>【成果指標】 ・オフサイトミーティング実施率100% ・定時退校日及びノー会議デーの実施率80%以上。 ・準備時間の活用率70%以上。</p>		
----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

改善課題

(年度末に記載)

5 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次へ の取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動につ いての改善策	(年度末に記載)
------------------	----------

学校運営につ いての改善策	(年度末に記載)
------------------	----------